

## 第 275 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【 令和 8 年 3 月 10 日 (火) 開催 会場: Tech Hub Yokohama 】

### 1. 株式会社アンパメトリー 代表者 有澤 哲 氏

【住所】神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学医学部内 先端医科学研究棟 P202

【設立】2019 年 9 月 【資本金】5,000 千円

【事業概要】当社は横浜市立大学発のベンチャーで、精神・神経疾患に関与する AMPA 受容体を生体内で可視化する AMPA-PET 技術を開発しました。本技術によりヒト脳内の AMPA 受容体分布と疾患との関係が明らかとなり、創薬支援として薬効評価や患者選択に活用されています。すでに製薬企業との受託研究も進行中です。診断技術としては Phase I を完了し、双極性障害とうつ病の鑑別診断で実用化を目指し、2029 年頃の上市を計画しています。

【コメント】現在、精神疾患は増える一方なのに、医療の進歩から取り残されています。それは、①精神疾患の診断は客観性に欠けている、②治療の効果予測が困難、③新たな治療薬の開発における「客観的指標」が不足しているという課題があるからです。精神疾患は全世界で 9 億人以上、日本でも 400 万人以上が罹患していると言われています。AMAP 受容体を見ることは脳の機能を見ることでもあるので、正しい診断が出来るようになり、最適な治療に結びつけることが出来ます。将来的に AMPA-PET の研究、創薬、診断は、脳科学・創薬開発のエコシステムの中心として活用出来るのではないかとおっしゃってありました。



### 2. 株式会社 MEDICARE LIGHT 代表者 柏木 久史 氏

取締役 COO 清水 史浩 氏

【住所】東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエアイーストタワー4 階

【設立】2023 年 7 月 【資本金】160,009 千円 (準備金含む)

【事業概要】

- ①競合のない迅速(その場で結果が分かる)がん、感染症検査キットの国内外展開
  - ②国内の企業向け福利厚生(損金処理可能)複合医療サービス:「どこでもクリニック」の運営
  - ③対話型 AI を用いた認知機能アプリを開発中。患者を見つけて治療する医療ではなく、日常生活の自然言語から早期の進展を感知し、AI が記憶をつかさどる会話を実践して改善する。
- 以上、人類が直面している健康課題を解決する事業です。

【コメント】同社はこれらの事業で早期発見リスクチェックのリーディングカンパニーを目指しております。

① について: 自宅で簡単に 5~15 分で簡単に検査出来る、病気リスク検査キット「SUGUME(スグミー)」は癌系 7 種類、感染症 7 種類を開発。国内実績は全国ウエルシア薬局グループ等で販売。海外実績はカンボジアとモンゴルでは店頭販売が始まっており、ベトナムとインドネシアでは医療機器認証を取得。②について:「どこでもクリニック」は健康に特化した 5 社のサービスを 1 つに集約し、新しい健康管理の仕組みづくりを行っています。提供開始から 7 か月間で約 52 社、14000 名に導入。③について: 認知症の早期発見の重要性が叫ばれている中で現実的には早期発見が大幅に遅れています。その中で同社は「検査を受けたくない」という最大の障壁を乗り越えるために『雑談スクリーニング検査』という領域を作っていこうとしております。



(左から) 取締役 COO 清水 氏、  
代表取締役 柏木 氏

### 3. 株式会社 Career-Now55 代表者 志村 亜希子 氏

【住所】神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21 さがみはら産業創造センターDesk10

【設立】2025 年 2 月 【資本金】2,000 千円

【事業概要】Career-Now55 は人材育成と組織変革を一体で捉え、企業の内側から変化を生み出す伴走型の人材・組織開発会社です。『対話型組織開発』を軸に組織の土台を整え、面談や研修、制度・運用設計等の施策を組み合わせて支援しています。その結果、管理職の役割理解や判断・行動の質が高まり、部門間の連携や現場発の改善提案が生まれるなど、前向きな変化が着実に現れています。私たちは、『対話型組織開発』の実行支援を通じて、日本企業が本来持つチームワークと創意工夫の力を呼び覚まし、持続的に成長する企業づくりに貢献します。

【コメント】現在、同社が人材育成コンサルティングとして継続的に関わらせて頂いている企業は 13 社、そのうち 2 社はベトナムの人材教育も担っています。同社の強みは、対話のプロフェッショナルである 13 名のキャリアコンサルタントが社員の内側にある混沌とした想いを引き出し、仕組みで言語化すること。まず組織の現状を正しく認識するためにアメリカで開発された『スクエアホイールサーベイ』という診断ツールを活用し、現在のチームの状態を可視化します。その後、キャリアコンサルタントが社員一人ずつと面談し、キャリアプランを考えていきます。『対話型組織開発』は時間を要するものですが、この結果、社員の主体性が目覚め、組織形態が良い方向に変容していくそうです。今回は取引先のご紹介を希望されておられました。



【感想】今年に入って開催した発表会では、有難いことに会場にお越し頂く方々で満席の状態となっております。

どの発表企業も各々の分野でイノベーションを起こし、新しいマーケットを構築されようとしていて、今後の展開が楽しみです。

数カ月先まで登壇企業が確定しておりますので、もし発表をご希望とされる方がおられましたら、お早目にお申し出を頂きますと幸いです。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

第 276 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■日 時: 令和 8 年 4 月 14 日 (火) 13:30~15:00

■会 場: Tech Hub Yokohama

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA

(株)TNP パートナース、(株)TNP スレッズオブライト

井 汲 美 樹